

議会だより

第36号
3月
定例会
2013

2013.4.22発行

動き始めた学校再編 定例会 P2

第1回臨時会・定例会 議決結果 P4

庁舎第1別館解体 常任委員会 P6

オフサイトセンターの概要は 代表・一般質問 P10

四国せいよジオパーク認定へ向けて P18

特集

まちかどインタビュー
野村
P17



おイネウォーク出発式

せいよの海・里・山の遺跡

四国西予ジオパーク認定へ向けて
先人の暮らしに想いを馳せる

山



恵比寿神社と中津川洞穴遺跡(城川・古市)



穴神洞穴遺跡(城川・川津南)

里



笠置峠古墳(宇和・岩木)



ナルタキ古墳群(宇和・岩木)

海



国木遺跡の掘立柱建物跡(宇和・山田)



坪栗遺跡・木製品(宇和・山田)



岩木赤坂遺跡・石包丁(宇和・岩木)



縄文の石鏃(三瓶)



縄文の釣針(明浜)

西予市には、300ヶ所を超える遺跡があります。海岸部には海の生業や海を通じた交流を示すものが見られます。里の遺跡からは、稲作や各地との交流、南予の中核としての役割を担った姿を描くことができます。山間部には、縄文時代四国の4割の洞穴・岩陰遺跡が集中しています。このように、古くから西予市に展開する多様な地形や自然環境に応じた生活が営まれていたのです。

編集後記

小学校の再編・病院の整備・市内産業の活性化などを柱とした25年度に計画している多数の事業と予算が発表されました。また市民が郷土を愛し、誇りを持つて歩んで行く一つの礎として、ジオパーク認定を受ける大切な年度です。
これらの事業・予算が、目標に向って進んでいるかをしっかりと議会は見ていきます。

編集委員
委員長 源 正樹
副委員長 井 陽一
委員 田 純一
二宮 徳博
松宮 一清
宇都宮 明宏



三瓶小学校新築現場

野村小学校

3月1日から22日までの22日間の会期で第1回定例会が開催されました。主な議案は、条例制定・改正29件、陳情1件、意見書2件で、予算関係では、国の緊急経済対策を受けた補正予算と平成25年度当初予算を審議しました。

地域の活性化に

地域おこし協力隊 導入事業 3千804万円

都市住民など地域外の人材を受け入れて地域づくりに取り組む10人(本庁・支所各2人)の臨時雇用等の経費

10年を記録

市誌編纂・発刊事業 956万円

合併10周年となる平成26年度発刊予定の市誌編纂に係る経費

施設を整備

愛媛国体施設整備事業 5千409万円

平成29年の愛媛国体成年女子ソフトボール会場となる、宇和球場・宇和運動公園の施設改修設計及び会場基本計画策定調査委託等に係る経費

文化を守る

朝日文楽会館建設事業 850万円

朝日文楽会館建て替えに係る設計業務委託費等



国体会場へ改修予定の宇和球場

3校合わせて 20億3,000万円

平成25年度 一般会計予算 269億4,000万円

動き始めた学校再編

25年度当初予算概要

再編に向けて

三瓶小学校校舎新築事業 12億6千752万円
平成26年4月に統合する三瓶地区小学校の校舎新築に係る経費

野村小学校南校舎 改築事業 1億8千523万円
平成27年4月の野村地区小学校統合に向けた野村小学校南校舎の改築に係る経費

野村小学校施設整備事業 2億2千612万円
野村小学校既存校舎の大規模改修に係る経費

明浜地区小学校統合校舎 建設事業 3億5千236万円
平成27年4月の明浜地区小学校統合に向けた統合校舎建設に係る経費

過疎から守る

市道維持管理委託事業 800万円
高齢化や過疎化により、地元管理が困難となった市道の草刈り・清掃等を業者委託する経費

津波から守る

災害用資機材・施設整備事業 2千332万円
津波避難路の整備(明浜2ヶ所・三瓶4ヶ所)及び明浜・三瓶地区災害用の物資を高台に分散備蓄する倉庫整備等に係る経費

海から守る

漁港海岸高潮対策事業 3千万円
皆江漁港(三瓶)枯井護岸高潮対策工事に係る経費

災害から守る

がけ崩れ防災対策事業 1億4千629万円
市内10ヶ所のがけ崩れ防災対策工事に係る経費

森を守る

森林そ生緊急対策事業 5億4千944万円
林業専用道11路線の開設及び高性能機械等の導入に対する補助金

質疑

指定管理

問 審査会の内容と意見は

産建 経営状況と経過、部長 今後の事業計画の説明を受けて判断していただきます。意見は特にありませんでした。

当初予算

問 パソコン交換の目的は

総務 部長 OSの保守点検やセキュリティのサポートの交換時期になっています。今回は、253台の入れ替えを予定しています。

問 国体に向けての宇和球場改修に対する補助は

教育 部長 施設の老朽化に対する。宇和球場は大半が老朽化に伴う改修のため補助を受けるのは難しいと思います。

問 総合型スポーツクラブ補助金とは

教育 部長 スポーツ振興くじ助成金から9割、市が1割を負担します。

問 野村の複合型教育施設の概要と木造についての検討は

教育 部長 1階に図書館、2階に子育て支援センターを建設予定です。鉄筋コンクリートを計画しているが、今後木造も検討します。



複合型教育施設建設予定地

問 市単独緊急経済対策事業の実施時期は

総務 部長 経済効果が発揮出来るよう速やかに実施いたします。

問 津波避難路整備の箇所と規模は

総務 部長 明浜2ヶ所・三瓶4ヶ所ですが詳細については決まっています。

議決結果表

2月の第1回臨時会・3月の第1回定例会の議案等をすべて掲載しています。発議第2号以外については、全会一致にて可決・承認他されました。

議会基本条例改正案

市民の意見を的確に把握し、議会活動に反映させるための、意見交換のあり方について

賛成13名

反対7名

源 正樹 井関 陽一
 菊池 純一 田中 徳博
 中村 敬治 二宮 一朗
 兵頭 学 小野 昭
 松山 清 松島 義昭
 藤井 朝広 浅野 忠昭
 梅川 光俊 浅野 忠昭
 宇都宮明宏 沖野 健三
 森川 一義 岡山 清秋
 酒井宇之吉 兵頭 勇
 山本 昭義

西予市議会第1回臨時会（平成25年2月4日）

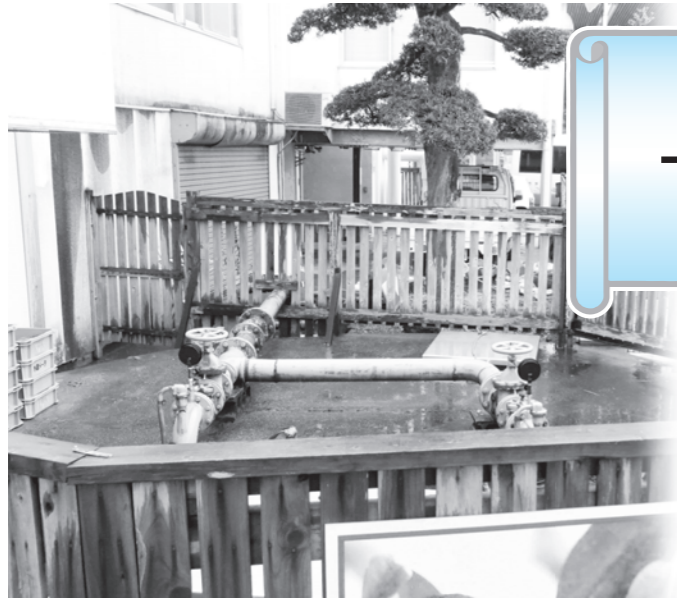
議案番号	案件名	議決結果
議案第1号	西予市国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
発議第1号	西予市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	原案可決

西予市議会第1回定例会（平成25年3月1日～22日）

議案番号	案件名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
議案第2号	財産の無償貸付について	原案可決
議案第3号	西予市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例制定について	原案可決
議案第4号	西予市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例制定について	原案可決
議案第5号	西予市新型インフルエンザ等対策本部条例制定について	原案可決
議案第6号	西予市都市下水道条例制定について	原案可決
議案第7号	西予市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例制定について	原案可決
議案第8号	西予市高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例制定について	原案可決
議案第9号	西予市市道の構造の技術的基準を定める条例制定について	原案可決
議案第10号	西予市市道に設ける案内標識等の寸法を定める条例制定について	原案可決
議案第11号	西予市準用河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例制定について	原案可決
議案第12号	西予市営住宅等の整備基準を定める条例制定について	原案可決
議案第13号	西予市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例制定について	原案可決
議案第14号	西予市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第15号	西予市個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第16号	西予市職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第17号	西予市立幼稚園における保育料等徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第18号	西予市歴史民俗資料館及び郷土文化保存伝習施設条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第19号	西予市乳幼児及び児童医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第20号	西予市敬老祝金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第21号	西予市隣保館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第22号	西予市小集落改良住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第23号	西予市農村改善センター条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第24号	西予市企業誘致条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第25号	西予市乙亥の里条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第26号	西予市都市公園条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第27号	西予市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第28号	西予市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第29号	西予市単独市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決

議案番号	案件名	議決結果
議案第30号	西予市野村介護老人保健施設つくし苑職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第31号	西予市乙亥の里の指定管理者の指定について	原案可決
議案第32号	西予市みかめ海の駅の指定管理者の指定について	原案可決
議案第33号	西予市大野ヶ原育成牧場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第34号	市道路線の廃止について	原案可決
議案第35号	市道路線の認定について	原案可決
議案第36号	西予市営土地改良事業の施行について	原案可決
議案第37号	平成24年度西予市一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第38号	平成24年度西予市授産場特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第39号	平成24年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第40号	平成24年度西予市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第41号	平成24年度西予市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第42号	平成24年度西予市介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第43号	平成24年度西予市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第44号	平成24年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第45号	平成24年度西予市上水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第46号	平成24年度西予市病院事業会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第47号	平成24年度西予市野村介護老人保健施設事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第48号	平成25年度西予市一般会計予算	原案可決
議案第49号	平成25年度西予市授産場特別会計予算	原案可決
議案第50号	平成25年度西予市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第51号	平成25年度西予市育英会奨学資金貸付特別会計予算	原案可決
議案第52号	平成25年度西予市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第53号	平成25年度西予市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第54号	平成25年度西予市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第55号	平成25年度西予市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第56号	平成25年度西予市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第57号	平成25年度西予市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第58号	平成25年度西予市上水道事業会計予算	原案可決
議案第59号	平成25年度西予市病院事業会計予算	原案可決
議案第60号	平成25年度西予市野村介護老人保健施設事業会計予算	原案可決
追加	案件名	
議案第61号	西予市消防救急デジタル無線設備整備工事請負契約について	原案可決
議案第62号	平成24年度西予市一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第63号	平成24年度西予市公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）	原案可決
議案第64号	平成24年度西予市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
推薦第1号	西予市農業委員会委員の推薦について	推薦
発議第2号	西予市議会基本条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議員派遣の件について	承認

陳情／意見書	案件名	議決結果
陳情第1号	国道56号バイパス建設を求める陳情書	不採択
意見書第1号	震災を見据えた災害に強いネットワークの形成を目指す「四国8の字ネットワーク」等の整備促進を求める意見書	採択
意見書第2号	配合飼料価格の高騰対策を求める意見書	採択
意見書案第1号	震災を見据えた災害に強いネットワークの形成を目指す「四国8の字ネットワーク」等の整備促進を求める意見書（案）	原案可決
意見書案第2号	配合飼料価格の高騰対策を求める意見書（案）	原案可決



老朽化する水道施設

上水道整備と運営

～厚生常任委員会～

審査報告

当初予算

西予市上水道事業

水道施設は耐震化率が低く、5年間で約26億円をかけ更新を計画しています。25年度は宇和においては上松葉浄水場更新工事、また、配水管等布設替工事では、宇和8ヶ所野村6ヶ所等の工事を予定しています。

審査報告

補正予算

まちおこしに

過疎集落自立再生緊急対策事業

1千699万円

遊子川地域活性化プロ



庁舎第一別館

庁舎第一別館(旧JA)解体

～総務常任委員会～

審査報告

補正予算

まちおこしに

過疎集落自立再生緊急対策事業

1千699万円

遊子川地域活性化プロ

ジェクトチームによる自治活動推進、生活支援事業6次産業の推進などの事業費。

耐震のため

体育施設整備基金事業

2億円

避難場所となる体育施設耐震化等の財源確保。

当初予算

解体決定!

市有財産維持管理事業

1億247万円

庁舎第一別館及び旧惣川診療所の解体経費などで、卯之町駅前駐輪場は仮設の予定です。

いそげ!

三瓶・明浜の防災無線親局の高台への移設は

まだ対策できていないが出来る限り早く対応したい。

どのような防災マップか地区ごとに作成します。

職員研修事業

議会事務局の法制執務研修を優先出来ないか

大切な研修と認識しているため、事務局に限らず多くの職員に対応したい。

どこが対応?

オフサイトセンターの窓口は

危機管理課で対応します。原子力に関する有事の際には、数名の職員を派遣予定です。

税金いくらある?

たばこ税はどれくらい入るのか

1千本当り5千262円が主で2億4千300万円を予算化しています。

卯之町駅前づくり

進捗状況は

地域審議会・議会・愛大推教授・各種団体代表など19名による検討委員会をすでに3回開催し、10月には市長に答申予定です。

活かせ!

地域づくり交付金の優良事例報告会は

昨年7月に事例発表と意見交換会をしています。

どうすすめる?

公共交通見直しは

交通空白地域の解消を第一に考え、宇和地区は4つの地元協議会にて検討中で新病院開業までに運行を開始したい。
意見 田之浜や三瓶についても通院バスを要望。

システム大丈夫?

東日本大震災でシステム崩壊にて行政事務に支障が出たと聞くと大丈夫か庁舎は震度7に耐える設計となっている事、バックアップを取って対応しています。

何人いるの?

救命士の数は

研修中の1名を含めて17名で、城川以外の救急出動時には、必ず1名は乗務しています。

減少の理由は?

生活保護世帯数の傾向は 本年3月までの1年間で18世帯減少して、248世帯となりました。要因は、被保護者の死亡の他、年金の受給開始等があります。

国保診療所

二及・周木診療所の患者数減少の理由は

昨年4月から今年の1月までの間に三瓶北地区で36名が亡くなられ、その8割が両診療所を利用していたためです。

在宅介護の支援は

介護保険で、任意事業の扶助費とは

在宅介護に対する手当や介護用品の支給などに係わる経費です。在宅介護手当の支給は、市の要項に従い申請書を審査し、要件を満たせば1カ月当たり1万5千円を支給しています。

水道料金未納者への対応は

料金の回収率99.5%で、未納者については、まず督促等を行い、場合によっては給水停止措置を講ずることもあります。

水道技術管理者の資格は

水道技術に関する経験年数が10年以上の者、または厚生労働大臣の登録を受けた日本水道協会の行う22日間の学科講習及び試験と15日間の実務研修了者等となっています。

水道を守れ!

老朽化した簡易水道の改修補助は

耐用年数を過ぎた配水管等の更新や、濾過池、配水池の改良更新等への補助メニューがあり、簡易水道等の基幹改良に対する補助率は国が3分の1、残り3分の2は自己財源が必要です。

利用者の内訳は?

西予市野村介護老人保健施設事業

4億4千541万円

「つくし苑」は定員80名で、現在、城川12名、野村64名、宇和4名が利用。待機が60名以上のため、増床の要望があったが、県の認可・個人の負担増が今後の課題です。

いつまで必要?

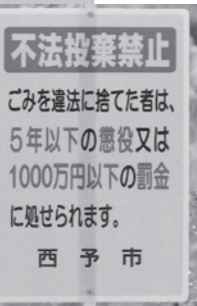
不法投棄対策事業

44万円

不法投棄防止看板製作費14万円、防止柵修繕費一式5万円、や不法投棄



不法投棄防止看板



不法投棄禁止
ごみを違法に捨てた者は、5年以下の懲役又は1000万円以下の罰金に処せられます。
西予市

市内産業の活性化を ～産業建設常任委員会～



乙亥会館（野村）

審査報告

なぜ改正？

乙亥の里条例改正後の見直しは

レストランは、階下で立地条件が良くない事もあり、会館の活性化の為

に使用料を、4万3千円から2万1千500円に減額するものです。
地元食材を利用したレストラン開業の希望があります。

どんどん利用して

住宅リフォーム事業とは

市内業者が施工する一戸建て住宅・併用住宅・集合住宅のリフォーム・増改築工事費の補助をするものです。20万円以上で工事費の20%以内、上限20万円です。
条件付きで、西予市産材を利用すれば、1㎡当たり5千円、上限5万円の加算があります。



リフォーム現場

作物を守れ！

鳥獣害の対策は

被害が多発している地域を中心に電気柵・鉄筋柵の設置を約100kmする予定です。

捕獲檻設置に対して、1件当たり3万円を44基補助など各種事業を予定しています。



イノシシの捕獲檻

する事業者や生産者の活性化並びに交流人口の拡大を図るものです。

地域で取り組んでみては？

農業用道路の維持管理を未舗装路線をコンクリート舗装することにより、集出荷時における作物の荷傷み防止、砂塵の飛散による被害防止、更に草刈り等の労力軽減を図るものです。その為の生コンクリートを支給します。

ジオパーク認定に向けて認定までの取組は

スケジュールは、5月にプレゼンテーションをし、7月～8月中に委員会からの現地視察を受けて、結果は9月頃に発表の予定です。

認定に向け、ジオに関する講演会、講座、学習会、ジオツアー等を充実させ、ジオポイントには案内板を設置。また、ガイドマップや車両用ステッカー等の作製をします。

陳情

国道56号バイパス建設を求める陳情書



ジオ講座（城川）

不採択
計画対象地区は、広範囲であるが、今回は、その中の一地区だけからの陳情であるため。

意見書

震災を見据えた災害に強いネットワークの形成を目指す「四国8の字ネットワーク」等の整備促進を求める意見書
採択
配合飼料価格の高騰対策を求める意見書
採択

代表・一般質問 通告表

代表質問・一般質問は、意義のある発言の場であり、市民のみならず大きな関心と期待を持たれる大切な議員活動の場です。会派からの代表質問は、昨年、第3回定例会から導入され、年4回開催される定例会のうち、第1回（3月）及び第3回（9月）で行っています。

一般質問は、議題とは関係なく市政全般に対する議員主導の政策論議であり、質問する議員、執行機関共に十分な準備が必要で、そのために、他の発言と違って通告制が採用されています。
第1回定例会では、清風会からの代表質問の他、6名の議員が一般質問を行いました。
質問要旨は下記のとおりです。

代表質問

質問順位	質問者	質問要旨
1	松山 清 (清風会)	(1) 自公政権に対する評価と今後の国政の動向に対する見解について (2) オフサイトセンターと今後の見直しについて (3) 東日本大震災から2年経過しての備えについて (4) 住民参加のまちづくりについて (5) 駅前再開発について (6) 新市立病院建設にあわせた交通整備について (7) 所信表明に関して

一般質問

質問順位	質問者	質問要旨
1	酒井 宇之吉 (一問一答)	1 高齢化社会への対応策について (安心な老後を求める為に) (1) 高齢化率の推移・現状とその分析 (2) 高齢者の生活環境の整備 (3) AEDの設置地区は (4) 認知症の対応について (5) 安心キットの普及は (6) 改正高齢者再雇用法について (7) 民生委員の活動について 2 これからの西予市に向けて (1) 消防について (2) 教育行政等について (3) 公営企業運営等について (4) 明浜地域について
2	田中 徳博 (一括質問)	1 減災のまちづくりより、防災道路の整備についての考えは 2 学校教育に付帯する、宇和給食センターについて 3 魅力あふれる創造・発信より 4 ふるさと納税について 5 宇和文化会館裏、大駐車場の使用について
3	二宮 一郎 (一問一答)	1 予算編成・事業の取り組み方について (1) 国・県からの事業 (2) 毎年必要な事業 (3) 新規に取り組む事業 2 期日前投票について (1) 宣誓書を自宅で記入できる対策を 3 包括支援センターについて (1) 現在の取り組み状況について
4	源 正樹 (分割質問)	4 学校教育について (1) 学校再編による教員の配置について (2) こころの相談員について (3) 通学路の点検状況 5 聴覚障害者119番対策 (1) 導入効果は
5	藤井 朝廣 (一問一答)	1 リスク対策について (1) 防災・減災対策について (2) リスク管理について 2 子育て支援について (1) 子育て3法への対応について (2) 学童保育について (3) 子育て世代移住促進策について 3 インフラの維持について (1) インフラ維持について
6	兵頭 学 (一問一答)	1 ジオパークについて (1) 日本ジオパーク認定について 2 耕作放棄地について (1) 昨年、葉たばこ生産農家が激減したが、耕作地の転用状況 3 行財政改革について (1) IP電話の活用 4 野村ダム周辺の整備について (1) 游の里・野村ダム・ほわいとファーム・桂川溪谷の自然散策コース構想

問 安心な老後を
求める為の対
応について、まず西予
市の高齢化率はどの
ようになっていま
すか。

高齢者へ
安心を



酒井 宇之吉
議員

福祉部長 合併時からの高
齢化率は、表のよ
うになっています。
旧町ごとでは、三瓶が
32%でしたが、直近では
40.5%になっており、7.9ポ
イントの上昇です。明浜は
7.2ポイント、宇和は3.2ポ
イントの上昇です。原因
は、人口減少の理由とな
ると死亡や転出に加え、
中心部への転居が多かつ
たため、高齢化率が進ん
でいると考えます。

	平成16年 4月(合併時)	平成25年 1月末
人口(人)	47,044	42,013
高齢者(人)	15,456	15,716
高齢化率(%)	32.9	37.4



質問
高齢化社会への対応について

問 高齢化とも
増加すると
考えられる認知症患
者への対応と、認知症
施策5ヶ年計画(オレ
ンジプラン)の実施計
画はどのようなになっ
ていますか。

福祉部長 認知症サポータ
ー養成事業(本年
2月末まで1千725名受
講)を開始し、今後オレ
ンジプランを踏まえて認知
症ケアパス作成の推進や、
介護保険事業計画へ反映
させたいと考えておりま
す。多職種間連携の活動
が重要と考えます。

問 安心キットの
普及状況は。

福祉部長 まごころ銀行を
のときの安心・安全を確
保するため、無料で配布
しているもので、明浜
140、宇和683、野村593、城川
209、三瓶124の計1千749個
の希望がありました。
これは地域の担当民生
児童委員が希望意志を確
認し、配布を行っていま
す。

問 西予CATV
で放映してい
る「応急の手当く繋げ
よう、救命のバトン
」の中でAEDの使
用方法を紹介されて
いるが、そのAEDの
普及の現状と、今後の
設置導入指導は。

総務部長 設置場所は、消防
署で作成してお
り、現在市内で96台を把
握しています。市民の関

心も高くなっており、積
極的に導入を行ってまい
ります。



AED



安心キット

問 オフサイトセ
ンター計画と
誘致の経緯は。完成後、
伊方原発の再稼働につ
いて、見解を問う。また、
伊賀上バイパスなど、
周辺整備がどうあるべ
きか。

西予市を
南予の
防災基地へ！



松山 清
議員

副市長 オフサイトセン
ターは平成25年
度に規模や構造などが検
討され、実施設計される
予定です。昨年11月に県
から候補地の打診があ
り、西予市が最適地と判
断されました。原発再稼
働と移転計画は、関係な
いと理解しています。伊
賀上野田バイパスな
どの周辺整備については
今後の検討課題としてい
たい。



愛媛県オフサイトセンター (伊方町)

委員の自由
闊達な意見
交換の妨げ
となる恐れ
があるため
現段階での
放送は考え
ておりませ
ん。
地域交付
金制度は2
年が経過し、



質問
オフサイトセンターの概要は

問 東日本大震災
に学び、実施し
た事業は。自治体間連
携などへの取組は。

総務部長 避難施設の充実・
住民啓発活動・企
業との応援体制整備など
実施しました。また、愛媛
県および四国西南部の7
市7町による四国西南サ
ミット災害時応援協定を
締結しています。

大震災への備えは

問 住民の関心を
高めるため、
様々な検討委員会な
どを公開し、CATV
を活用し、情報発信を
強化するべきでは。地
域づくり交付金制度
のあり方もきめ細や
かな助言を。

総務部長 住民参加のため
には、HPの活用
が有効と考え、face
bookに対応するな
どの改良を行いました。
CATVについては、各

住民参加の
まちづくりの推進を

駅前再開発の
進捗状況は

問 卯之町駅前再
開発の検討状
況は。JRとの連携
は。自転車置き場・パ
ス旋回場・民間私有
地など総合的な開発
が必要なのは。

総務部長 平成24年11月から
市民検討委員会
を立ち上げ、25年10月答
申を予定しています。そ
の後、基本検討案をつく
り実施設計に入りますが、
その時JRも参加するこ
とになっていきます。検討
範囲はJR駅舎から商店
街通りのエリアで、総合
的な開発を視野に入れて
おり、歴史と文化の町に
ふさわしい景観となるこ
とを共通認識として、す
べての課題を抽出し協議
を進めてまいります。



再開発計画が進む卯之町駅前



質問

防災道路の整備についての考えは



田中 徳博 議員

おもてなしの
ここで
多目的トイレの
設置をして

問 災害時の避難
路として、新病
院や高速道路へのアク
セス路、また、設置予定
の県オフサイトセンタ
ーへのアクセス道路と
して伊賀上・野田バイ
パス線を検討しては。

**産建
部長** 現存の国道や県道
を整備していきたく
い。
現在、宇和川沿いの一
車線の道を二車線に改善
してゆく予定で、伊賀上・
野田バイパス線は今後の
検討課題としていきたい。



多目的トイレ

問 多目的トイレ
の整備状況と
増設については。

**産建
部長** 現在、94ヶ所のト
イレがあり、32ヶ
所が多目的トイレ、その
中の12ヶ所にベビーシー
トが設置され、オストメ
イトトイレは5ヶ所です。
重伝建やジョオツリズ
ムで西予を訪れる人たち
のためにも、整備・増設し
ていきたい。

安心・安全でおいし
い給食を食べさせ
たい

問 宇和給食セン
ターの現状と
課題は。

**教育
部長** センターとして
小学校7校と中
学校1校に約1千500食を
調理し、2台の配送車で
2時間以内を目指し、配
送しています。調理後セ
ンターで検食し、さらに、
学校で給食前に校長が検
食して、安全に努めてい
ます。

センターは昭和47年に
建築され、建て替えが
迫っているが、徹底した
衛生管理を心掛けてお
り、万全を期したい。

少しでも収入を

問 ふるさと納税
についての取
り組みと成果は。

**総務
部長** 税務課や企画調
整課等で連携し、
市のホームページ、新し
いパンフレットやDVD
を作成して、市出身の方
たちにチラシ等を配布す
るなどPRに努めていま
す。実績としては、平成23
年度には204万7千円、平
成24年度は16件、158万円
です。
いただいた資金は、せ
いよ地域づくり交付金・
子育て支援センター・イ
ベント事業等に活用して
います。

宇和文化会館裏
大駐車場の
有料化について

問 従来から問題
になっていた
駐車場の有料化につい
て。新庁舎の開庁から
十分な時が流れている
がどのような検討がさ
れ、これからどう管理・
運営されるのか。

**総務
部長** 周辺の駐車場事
情、駅前の開発等
や職員と一般市民の利用
者との関連等、問題が多
く、複雑な要素があり、前
向きに検討しているが、
早急には結論が出せな
い。

市長 適切な方法につい
て、一歩進んだ段
階で職員組合と調整して
いきます。
複雑な問題があり、理
解していただきたい。



ふるさと納税チラシ



質問

民意を反映した
事業予算を



二宮 一朗 議員

みなさんの
声を届けましょう

市長 予算編成は、第一
次総合計画に基づ
き行い、行政評価システ
ム導入で事務事業を見直
しながら行っています。
市民の意見・要望を聞く
方法として、パブリック
コメントや職員が市民の
声を柔軟に聞いて事務事
業に反映しています。ま
た、市政懇談会などの議
事録を閲覧し情報を共有
できています。
市民からの提言の場は
今後の参考にします



市政懇談会

大震災への備えは

問 高齢者が増え
る中、地域包括
支援センターが現状の
2か所でないのか、後
の3地区にも常時1名
を配置してすぐに相談
できる体制にしたらど
うか、また、社会福祉協
議会に委託することで
行政の責任感が希薄に
なっているのではない
か。

市長 委託が悪いという
発想はないが、福
祉は基本だと考えている
ので真正面から取り組ん
でいきます。



包括支援センター

聴覚障がい者の
緊急通報システム

問 4月から導入
予定の、緊急通
報システムの概要と、
周知の方法をどのよう
に考えているのか。

消防長 今回導入の緊急
通報webシス
テムは、聴覚障がい者だ
けでなく、人工呼吸器を



携帯電話やスマートフォンを使って簡単に
「119番通報」できるシステムです

装着して電話での通報が
困難な方、及び障がい
のない方でも携帯電話を持
っていれば簡単な登録で、
救急や火災など災害発生
時に緊急通報ができ、正
確な情報により迅速な対
応が可能となります。
周知は、西予市のホー
ムページや広報誌で紹介
手話サークルなどにも協
力をお願いします。

問 平成21年に町並みが重伝建に選定され多く観光客が来ていただいているが、市内のお土産品が少ないとの意見があるが、特産品の開発などへの取組みは。

観光客に、やさしい中町へ



藤井 朝廣 議員

産建部長 市内には、その地形・風土・気候が育んだ特産品が多くあり、産業活性化の観点から「農林水産物加工開発」「市産品販売促進支援」事業などに助成を行う一方、「西予市ファンづくり」事業を立ち上げ、食・物・観光など経済活動に結びつける新たな取組みを展開してまいります。



質問
また来たい町並づくり

問 現在の観光案内板は、数も少なく、行き先への距離の表示も無いなど、分かりにくいとの指摘があるが、見直す考えは。

産建部長 町並み周辺には、3箇所の観光案内板があり、表示内容に物足りない部分も見受けられます。

今後は、地図形式や施設への方向を示した誘導表示など、お客様により分かりやすく統一性のあるものを導入するべく、現状の問題点、効果的な設置場所や表示方法など多角的に研究してまいります。



文化の里案内板 (宇和)

危機に備えよ

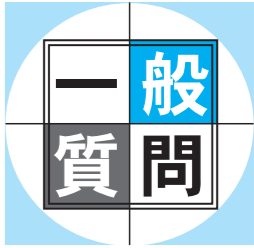


源 正樹 議員

問 巨大地震・津波発生時には、自治体の枠を超え近隣市町の連携した取組対応が必要であるが、現在の取組状況は。

市長 広域災害発生時は、自治体単独で対応することは難しく、各種団体企業との協定・自治体間での相互応援協定を締結しています。内容を充実し、今後も連携を深めます。

総務部長 的確な対処・適切な措置を行うため、連絡体制・初動対応・調査方法・事務処理を定めたマニュアルを作成し、職員に周知し、適切な対応につとめています。



質問
リスクへの備えは

問 昨年8月に子育て支援法等が制定・改正され、すべての市町村に支援計画策定が義務付けられるがその取組方針は。

子育て支援

また、保護者や関係者などの意見を聴取するいわゆる地方版子ども・子育て会議は設置するのか。

福祉部長 平成25年4月に設置される国の子ども・子育て会議の指針を踏まえ取り組みます。市民の意見を聴きながら、教育・保育・子育て支援のバランスに配慮し、市町村計画を策定する必要があります。



津波災害への備えを (明浜)



公衆トイレ (宇和)

問 大型観光バスが2台同時に商工会の駐車場に入った場合、多くの方がトイレを必要とされます。厳しい財政状況だと思いが、トイレの数・場所・多機能型など、改善すべきでは。

産建部長 現在、車イス利用の方に配慮したトイレもあります。二丁目に配慮されていない面もあると考えています。

今後は、ジオパーク構想も視野に入れ、各観光施設のトイレの機能改善・強化など効果的な計画推進に努めてまいります。

インフラ維持

問 中央道笹子トンネル天井崩落事故が発生し、老朽化するインフラ施設の補修への対応が急務である。

産建部長 道路・橋梁は、これから高齢化を迎えます。現在は、必要に応じて維持管理を行っており、今後の事業費見込みは、道路10億円、橋梁は20億円程度を考えています。



50年を迎える老朽化した橋 (宇和)

地産地消への思い

問 市も「出来るものは、できるだけ地元で」という考えのもと取組んでいるのは承知しているが、まだ小さな工事や、物品・印刷・車検など地元の活力のために対応すべき点があると思うが、規約や規則などの制定への思いは。

副市長 公共事業では、83%が市内の企業に落札されています。工事とは、市民の財産を造るものであり、無駄な経費を使わず、品質の高いものを目指して各企業には技術の向上、技術者の育成をお願いしているところです。



和紙工房 りくう

野村町

あぽなし

まちかど インタビュー

42,000人が住む西予市。市民のみなさんのご意見を聞いてみたいと始めた「まちかどインタビュー」。今回は野村町に。
早く取材に応じて頂きました皆様、本当にありがとうございました！

- こんなこと聞きました**
- ①今頑張っている事
 - ②これからチャレンジしたいこと
 - ③今困っている事
 - ④西予市に望む事
 - ⑤西予市議会をどう思う



窪内 貞丸(73)

- ①健康管理
- ②グランドゴルフでチャンピオンになる
- ③町内商店街に活気がない 人にも活気がない様な気がする
- ④専門的な野村郷土資料館を作ってほしい
- ⑤情報公開！市民の立場に立って物事を考えてほしい

- ①店(今昔屋)でたこ焼きを焼く事
- ②体を元気にする事 家の中で出来る運動
- ③町そのものに活気がない お客さんの数が少ない
- ④若者の働く場所を作ってほしい 孫にやさしい町にしてほしい
- ⑤本当に人の為になっているのか 特に水道問題など



河野 道子(64)



栗田 梨緒(16)

- ①学校の実習
- ②四国連合乳用牛共進会に牛を出品する事
- ③勉強が難しい
- ④遊べる場所を増やしてほしい
- ⑤よくわからない

一般質問



兵頭 学
議員

もっと啓発活動を

問 日本ジオパーク認定までのプロセスと認定時期。四国ジオガイド養成講座の参加状況と市民の理解と周知は。

産建 部長 張メッセで四国西予ジオパークのプレゼンテーションを行い、7月から8月に現地審査があり、9月に発表があります。また、四国西予ジオガイド養成講座には多くの市民が参加していただいています。
今後は、のぼり旗、ポスター、車両用ステッカー等を作成・掲示し、内外にアピールしてまいります。



河内谷観音嶽 (宇和・岩木)

問 耕作放棄地対策として、薬用植物の甘草、ミシマサイコ。緑化事業に活用されるスナゴケ等の生産状況と、販売ルート確保は。エキスを精製すれば商品価値は上がるが、その考えは。

産建 部長 平成23年から試験的に取り組み、甘草は8法人・団体に委託して4万本の生産が継続中であり、現在発注元に成分分析等を検証しています。また、ミシマサイコは薬草生産組合14戸が3.5ha、今年は40戸8haで生産予定です。
スナゴケは明浜、野村、城川で試験栽培を継続しており、栽培に適しているか検証中です。
甘草のエキスは他用途の活用が出来るので、今後、検討します。



ミシマサイコ (野村)

問 ピカラのインターネットに加入すれば、IP電話同士の無料になるが、庁舎にもIP電話が有るのに電話帳や、広報に載せていないのか。本庁・各支所・公民館などをIP電話にすれば、経費削減になるが、その考えは。

総務 部長 平成23年11月からIP電話の回線を増設しています。NTTの電話帳には載っていますが、IP電話との告知が出来ておりません。今後は広報等に再掲載するように検討いたします。
IP電話は、停電時に使用できない事や、庁舎・支所間ではメールでの通信を行っており、初期投資も掛ることから現段階では導入を見送っています。

こんな行政改革も